



東京多摩プロバスニュース

第 62 号

■事務局: 〒206-0034 東京都多摩市鶴牧 5-29-10 平田方 ■編集・発行: 広報委員会 2015.9.2.

■電話・FAX (042) 338-7022 ■URL: <http://www.tokyo-tama-probusclub.com>

ふるさと多摩を若い人たちと共に

第 133 回 定例会

日 時 : 平成 27 年 7 月 1 日(水)午後 1 時 30 分より

場 所 : 関戸公民館第 1 学習室

出席者 : 28 名(会員数 33 名)

第 134 回 定例会

日 時 : 平成 27 年 8 月 5 日(水)午後 1 時 30 分より

場 所 : 関戸公民館第 2 学習室

出席者 : 22 名(会員数 33 名)

理 念

1. 豊かな人生経験を生かし地域社会に奉仕する
2. 活力ある高齢社会を創造する
3. 会員同士の交流と意欲の向上をはかる
4. 非政治的、非宗教的、非営利的であることとする



ごあいさつ



年度初めに当たって

神谷真一会長

昭和 33 年、都心より多摩に転居し、東京都南多摩郡多摩村関戸で生活が始まりました。家の近くの田んぼで沢山の蛙が声を張り上げていました。家の一階から富士山が見え、家の裏に流れる多摩川での釣りに明け暮れた日々を、村から町、そして多摩市に変わるうちに、多摩の自然の中で思い出しました。今年度のスローガン「ふるさと多摩を若い人たちと共に」は、若い人の心・考えには、私達が考えるよりもっと違った良い面が多いことに気づきました。「自然を愛する心」「地域貢献の心」「連帯する心」「平和の心」「感謝の心」など共に共有できればと思っています。そして多摩市の再生には、一緒になって協力したいと思います。

当クラブ創立 10 周年記念に多摩プロバスかるたができ、多摩市の美しい自然、環境、歴史上の名所が表されています。若い人からお年寄りまで良い共感を呼んでいます。



東京多摩プロバスクラブの会員は、多士済々の集まりです。日本の伝統文化である茶道・古典舞踊・江戸しぐさの礼儀作法・貝合わせの絵と遊びや、俳句・写真・絵画・音楽・囲碁・そろばん授業などの教育や趣味を活かした活動がされています。これらを紹介発表するために 5 年前に行なった「多摩プロバスフェア」の第二弾を開催したいと思います。

高齢化が進む中、自分の体に優しく決して無理をしないで、仲良くプロバスライフを楽しみ、E.S.D・オリンピック・パラリンピックへの協力、多摩市の活性化などに協力したいと思います。



涼風漂う深緑のモミジバフウの並木
(多摩市上之根通り)

◇◇◇ 第12期定期総会 ◇◇◇

第12期定期総会(平成27年度)が7月1日(水)午後1時30分～3時、関戸公民館第2学習室で開催された。山田正司会長の開会挨拶後、議長が選出され審議がなされた。第1号議案から第6号議案まですべて異議なく承認されました。

第12期は神谷真一会長を筆頭に新任理事、及び基本目標と活動方針は下記の通りです。

1、平成27年度新理事

会長	神谷真一
副会長	倉賀野武士
幹事	稲田 興
会計	藤 寄 喬子
総務委員会委員長	鈴木泰弘
研修・親睦委員会委員長	鈴木達夫
地域奉仕委員会委員長	澤 雄二
広報委員会委員長	北村克彦



新任の役員：左から山田監査・北村広報委員長・澤地域奉仕委員長・鈴木達夫研修親睦委員長・倉賀野副会長・神谷会長・稲田幹事・鈴木泰弘総務委員長・藤寄会計 各位

2、平成27年度基本目標と活動方針 神谷真一会長 <スローガン>「ふるさと多摩を若い人たちと共に」

1)基本目標；高齢化が進むなか、決して無理せず、プロバスライフを大いに楽しみながら、各自が身体に優しく健康を保ち、若い人たちに繋げて行く。

2)活動方針；

- ①多摩市の進めるESD活動への積極的な支援を行う。
- ②オリンピック・パラリンピックなどに広い範囲でもってなしやお世話に協力、当クラブの持つ古典文化、芸能、体育など大いに活用したい。
- ③他のプロバスクラブとの積極的な交流に努める。
- ④会員の増強と若返りを進めたい。



総会・定例会後、京王クラブで恒例の懇親会を開催。東京多摩RCから篠塚武雄会長・長谷川鈴江様を来賓に迎えて総勢22名が親交を深めた。今回は堀内陽二会員の娘婿さん(米国シカゴで活躍されているギタリスト)が夏休みで来日し、急遽2曲を演奏するサプライズがあった。その後、カラオケや合唱で盛り上がり楽しい時間を過ごした。

(鈴木達夫研修・親睦委員長記)

◇◇◇ 幹事・委員会報告 ◇◇◇

1. 幹事報告

稲田興幹事

1.1. 年間スケジュール

定例会と理事会の年間スケジュールを検討。5月定例会は11日(第二水曜)、12月理事会は24日と決定。それ以外は、毎月第一水曜日に定例会、最終水曜日に理事会を開催。

1.2. 業務引き継ぎ

「文書保管要領」を元に、情報の整理と各理事間の引き継ぎをきちんと行うよう理事会で依頼。

1.3. 仮称“プロバスフェア2016”実行委員会の発足

第二回プロバスフェアの開催に向け、地域奉仕委員会を中心に実行委員会を立ち上げることを決めた。

2. 委員会報告

2.1. 総務委員会

鈴木泰弘委員長

1)第133回定例会；7月1日(水)

卓話；「台湾の偉人 八田與一」 稲田興会員

関連記事P4 参照

2)第134回定例会；8月5日(水)

①卓話；興味深い隣国「韓国」 西村政見会員

関連記事P4 参照

②定例会の予定

・第135回定例会 9月2日(水)

・第136回定例会 10月7日(水)

※場所・時間はすべて関戸公民館第2学習室・13:30～16:00

2.2. 研修・親睦委員会

鈴木達夫委員長

1)聖蹟桜ヶ丘周辺まち歩き；9月26日(土)

2)社会見学「鉄道博物館」(大宮市)・小江戸川越散策(川越市)；10月14日(水)、次回定例会で詳細をお知らせ。

2.3. 地域奉仕委員会

澤雄二委員長

1)「何ができるか」名簿作成協力多謝；この名簿を当クラブの資産として活用や告知の方法について、委員会で検討を進める。

2)五輪に向けての多摩協議会は外国人招致の具体的検討に入っています。

2.4. 広報委員会

北村克彦委員長

1)7月20日ホームページを更新

2)多摩プロバスニュース第62号を9月2日(水)定例会時に発行

◇◇◇ プロジェクト報告 ◇◇◇

かるた普及プロジェクト

大澤亘リーダー

1. 多摩プロバスかるた(以下「かるた」)が活用された今年のワールドキャンパス(以下 WC)について報告します。WC については、すでに蓮池会員(現会友)がプロバスニュース 27 号(2009 年 11 月)に、中村昭夫会員が 57 号(2014 年 11 月)に報告されているほか WC 実行委員会の報告が 17 号(2007 年 11 月)に掲載されているので、制度の趣旨、内容、これまでの活動等についてはこれらを参照ください(上記ニュース 27 号、57 号は当クラブ HP で閲覧できます)。

今年の WC の青年たちは 12 ヶ国 21 人で、8 月 5 日から 11 日まで多摩市に滞在した。このうち 8 月 8 日(土)は唐木田菖蒲館で日本文化紹介の 1 つとして「かるた」を使ってかるた取りが行われた。会場の 2 階ホールに長机 2 つを並べた場を 6 つ作り、当会員がそれぞれの場に読み手として着き、机上に広げた絵札を WC の青年たちや自由参加の市民や子供たちが、読み札に応じて絵札をとるというやり方で 2 回行った。海外の青年たちは予想以上に日本語を理解しており、普通の速さで読み上げたにもかかわらず 1 回で 10 枚以上を取る人もおり会場は大いに盛り上がった。終了後神谷真一会長が当クラブからのプレゼントとして「かるた」を WC のメンバー一人ひとりに贈呈した。WC からは全員のサイン入りの集合写真をいただいた。

2. 菖蒲館での「かるた」の展示は、一般市民を対象に 7 月

20 日(日)から 8 月 9 日(日)まで行われた。今回は絵札の原画を A3 に拡大コピーしてラミネートしたものを展示し、WC での活用を意識して読み札と解説文には英訳文を添付したのが特徴である(これらの準備は菖蒲館と当クラブが分担して行った)。

3. 菖蒲館という場所柄、見学者は唐木田や鶴牧の住民が主であり、また展示会場である 1 階ロビーのテーブルの大半が夏休み学習中の中高生で占められ、人数はさほど多くはなかったが、関心は非常に高かった。展示期間中、PJ のメンバーが交代で見学者に対応しその方々の意見を集約した。

「かるた」全体の印象については①非常に上品なかるたですね(女性 3 人のグループ)、②建物の絵がしっかり描かれているのに感心(同上)、③多摩市在住 20 数年で平久保の椎や多摩八村などは初めて知った(同上)、④あまりにも見事なので一言お伝えしに来ました(高齢の女性。朝一番で来場)、⑤興味深く拝見しました(子供連れのお母さん)。

要望としては、①かるた現物の展示パネルをそのままカラーコピーしたものが欲しい。家の中に飾って絵と言葉と一緒に覚えられる(鶴牧在住の高齢男性; 1 時間近く応接)、②かるたのキーワードについても英訳が欲しかった(同上)、③英訳部分のコピーが欲しい(オランダで日本語を教えている女性)、④解説文と英訳文が欲しいです(上記の女性 3 人のグループ)などがあつた。



ワールドキャンパス
一行の皆さん



かるた競技風景



かるたの展示例

◇◇◇ 3 分間スピーチ ◇◇◇

1. 消えしボール見たか聞いたかホトトギス

増山敏夫会員

HOLE IN ONE 達成! 6 月 4 日相武カントリークラブ 17 番ホール。久々のナイスショット、永いゴルフ人生で初めてのことです。スコアカードに①と書く気分は何とも言えません。ゴルフ仲間がこの一句をつけ、少しばかりのお裾分けをしたところ、ゴルフの上手いある方から「消えしボール見たか聞いたかアホウドリ」と川柳に直した札状が届きました。アホウドリはゴルフ用語でアルバトロス(3 打少ないこと)。ロングホール(パー 5)で 2 打目が直接カップインすること。飛距離の落ちた私には不可能なこと。しかし夢でならできます。必ず達成してみせます。



筆者のスケッチ

2. 知って得するテレビニュースあれこれ

夜討ち、朝駆け

澤雄二会員

激しいスクープ合戦の取材の本舞台が夜討ち、朝駆けです。政治家や官僚達の自宅にほぼ毎日押しかけネタを取ることを言います。政治家の場合、夜は大抵、酒肴が賄われます。朝は朝食の席に呼ばれた記者はピカイチです。どうすればスクープを取ることができるのか、それは相手から信頼を得ることです。「この記者を大切にすれば得だぞ」と思わせれば勝ちです。その為に記者は様々な情報を用意しておきます。政局が動いていけば、他陣営や他党の動きや考え、社会的事件の背景、秋の流行色は何か、ベストセラー本は何か、国民の気持ちは奈辺にあるのか等々。記者は知恵を巡らします。日常的にどれ位、相手の気持ちを掴まえているのか、それによって取材した時、相手の答えの濃淡が決まるのです。テレビニュースの裏側にある記者の努力判っていただけましたか?

台湾の偉人「八田與一」

稲田興会員

◆台湾は日清戦争で得た日本の植民地で、太平洋戦争終了迄 50 年間日本が統治した。明治政府は、かけがえのない人材を惜しみなく台湾に注ぎ込み、台湾の開発と民生向上に尽くした。中でも、初代台湾総統の児玉源太郎・民政長官の後藤新平・農業改革では新渡戸稲造及び末永仁と磯永吉・治水工事で西郷菊次郎・教育近代化の六氏先生・台湾の神様になった森川清治郎巡査・そして表題の八田與一等が有名だが、台湾にとって八田氏の業績は図抜けており、台湾で知らない人は居ない。

◆生立ち (1886 年 2 月 21 日生 - 1942 年 5 月 8 日没)

石川県金沢市出身。東大土木科を卒業後、直ちに台湾総督府内務局土木課の技手として赴任し、最初上下水道の整備を担当。4 年後桃園大圳(とうえんたいしゅう)の水利工事を一任され、これを成功させて高い評価を得た。その後調査段階から参画した嘉南大圳(かなんたいしゅう)の建設に携わり、1920 年から 1930 年まで工事を指揮。総工費 5,400 万円を要した工事は、満水面積 1,000ha、有効貯水量 1 億 5,000 万 m³の大貯水池・烏山頭ダムを完成させ、水路も嘉南平野一帯に 16,000km にわたって細かく張り巡らさせた。併せて、稲・サトウキビ・畑作を 3 年周期で植え付け交代する「3 年輪作制」を採用させた。

◆嘉南大圳の成果：完成より 7 年後には、この地域の米の生産額は工事前の 11 倍、サトウキビ類は 4 倍となり、これらの農作物は日本への一大輸出商品となった。更に土地の値段も跳ね上がり、総督府予算の約半分を費やした建造費も十分元が取れた。また、農産物で稼いだ外貨が工業化に転嫁され、その後の台湾経済の産業高度化を大きく下支えし、後の奇跡の経済成長は嘉南大圳の完成から始まったと言っても過言ではない。

台湾で八田氏は、人格者としても高く評価されている。責任感が強く、危険な現場にも率先して駆け付けた。また、日本人と台湾人を差別せず、工事中に事故や病気で死亡した人の慰霊でも、全く同等に扱った。仕事面では自分にも他人にもきわめて厳格だったが、作業員の労働環境の改善には力を尽くした。部下は八田氏を尊敬し、従ったという。



写真

左上：八田氏の銅像

右上：ダムの放水口

左：外代樹夫人像除幕式

◆夫人の外代樹さん：1901 年生まれで 16 歳の時八田氏と結婚し、台湾で生活。1942 年に八田氏は南方に調査旅行する途上、船が撃沈され死亡。日本の敗戦後、台湾在住の日本人は日本へ引き揚げなければならなくなったが、外代樹夫人は日本に帰ることを拒み、8 人の子供と別れ、烏山頭ダムの着工記念日にあたる 9 月 1 日を選び、ダムの放水口に身を投げてその生涯を閉じた。享年 45 歳。

◆烏山頭ダムは現在公園として整備され、八田氏の銅像・夫人の像や八田氏を顕彰する記念館も併設されている。ここでは八田氏の命日である 5 月 8 日に毎年、台湾総統臨席の下、慰霊祭が行われる。

興味深い隣国「韓国」

西村政晃会員

私は 1971 年(昭和 46 年)1 月、極寒の雪岳山(そるあくさん 1,708m)を登って以来、韓国に魅せられ 21 回訪ね、山登り・交遊・豊かな食文化を楽しんできました。



日韓親善登山 2002 年 3 月 北漢山(836m)頂上

1971 年当時、韓国は焼け野原と化した朝鮮戦争から 18 年しか経ってなく、名峰雪岳山を訪ねる登山者は正月休みというのに、日本から氷瀑を登りに来た私達 3 人パーティ以外 4 組程でした。そんな中で、雪岳山の山麓の山小屋で偶然に知り合った韓国山岳会会員の二人、李さんと呉さん。その後、韓国の復興に伴い韓国山岳会と私達日本山岳会との交流登山を始め、韓国と日本の山々を行ったり来たり、交流登山は十数回を数えました。窓口は韓国が前記李仁川支部長、日本は私が務めました。

李さんの義理の姪御さんの日本の大学への留学に伴い、8 カ月間我が家がホームステイを引き受け、一緒に暮らし韓国とわが国の文化の違いを実感したことでした。“菓食同源”と呼ばれるバラエティ豊かな韓国の料理は、とても美味しく、身体に良いと楽しんでます。

◇◇◇ 出前授業 ◇◇◇

日本の礼儀作法

滝川道子会員

6月26日、多摩市立中学校一年生138名に「日本の礼儀作法」についてお話をとの依頼を受け「江戸しぐさは今しぐさ」とのテーマで講演をさせていただきました。礼儀作法ということでしたので日本古来の礼法(武家の作法)・マナー(明治維新後西洋から導入)・江戸しぐさ(江戸町衆の意構)の違いをお話しました。

1. 「江戸しぐさ」が作り出した平和な社会
2. 人みな仏の化身と思えば優しくなれる
3. しぐさは「思草」(思草の前にしぐさあり)
4. みんな違っって当り前の精神(尊異論・外っ国づき合い)
5. どうして挨拶が



講演中の筆者

- 必要なの
 6. パフォーマンス(往来しぐさ)
- 「江戸しぐさ」は心遣い、気遣い、心配り、上に立つ者のしぐさです。

それに相手は気付かないかもしれない、でも何気ない

しぐさの思いやりが人間関係をよくし、人としての品格をつくり上げていくようです。

生徒の皆様熱心に聞いてくださり、やり取りも楽しく、パフォーマンス(往来しぐさの傘かしげ・こぶし腰浮かせ・うかつ謝りなど)では大いに盛り上りました。

◇◇◇ 近隣 PC との交流 ◇◇◇

八王子プロバスとの囲碁交流

上田清会員

去る5月1日(金)、堀内陽二会員と私が八王子プロバスクラブ囲碁サークル主催の大会に参加してきました。この囲碁大会への参加は、すでに5回ほどになりますがいつものことながら他流試合の適度な緊張感が心地よく囲碁の魅力を実感しています。

対局は午前9時頃から午後4時頃までに5回戦を行い、はからずも私が3位と言う身に余る成績を戴いて至福の時間を過ごすことができました。

このような機会を設けていただいた八王子囲碁クラブの皆様へ改めて感謝を申し上げます。そして近い将来、多摩近隣のプロバスで合同の囲碁大会ができればと思っています。

◇◇◇ サークル活動 ◇◇◇

1. 第2回お茶を嗜む会

森川静子会員

去る6月16日(火)、関戸公民館第2学習室でお茶を嗜む会を開催しました。今回は「懐石」についての講演をしていただきました。

参加者は13名で皆さん阪東熙子会員の話に聞き入っていました。

演台に短冊を掲げ、鶯籠に花を活け、氷室の香合を飾りました。

日々稽古を積み、茶道の道に励む目的は最終的には「おもてなし」という懐石を客に召し上がっていただくことに尽きます。今回は懐石を知る上で、旬の食材の選び方から始まり懐石料理の流れに沿って一汁三菜の話から箸洗いに至るまでの講演でした。

しかしながら茶道という懐石とは、料理だけでなく、炭手前、濃茶、薄茶も含まれます。今回はその中で私が濃茶を練り、参加者に味わっていただきました。

縁高(菓子器)の扱いとお菓子のいただき方も指導しました。また、濃茶も参加者に回し飲みしていただきました。お茶会でなければ普段味わうことのない濃茶をいただき、参加者は感動しておりました。

最後に、茶の湯は日常の茶飯飲食を基盤とする文化の中で、非日常的な時空を体得することのできる場であるという言葉が印象的でした。

2. グルメサークル

倉賀野武士会員

復活したグルメサークルの3回目の昼食会は、阪東熙子会員の紹介により、6月17日に八王子の「美ささ苑」で懐石昼御膳をいただきました。普段行けない有名料亭とあって、女性は着物姿やドレスアップ、男性も暑いのにスーツを着て16名参加。些か緊張気味で打ち水の石畳を通りソファー席の待合いでお茶をいただき、次に数寄屋造りの椅子席の部屋へ通され、膳が運ばれ朱の盃を干す頃になると皆さんの顔がほころび、彩り豊かな旬の食材のほどよい大きさ、量の料理を堪能しました。



食後は目的の一つである利休ゆかりの茶室「獨楽庵」を特別に外から見学することができました。宇治川に架かっていた橋桁を流用したといわれる太い床柱に驚き、茶庭を

巡り築山、外腰掛、蹲に、芽生えの頃や紅葉の季節にまた訪れたいなと思いました。



懐石屋御膳に参加した皆さん

◇◇◇ サークル活動(つづき) ◇◇◇

3. 歌を楽しむ会

瀬尾日出男会員

毎月一回の皆で歌を楽しむ時間に練習を続けて、予定通り、7月の定期総会後の懇親会で歌を披露できたことに大いに満足しました。

男性が多いことから、自然に男好みの曲が選曲されていることが定期的に継続している要因かもしれません。

これからも、各自の持ち歌を発表しながら、歌を楽しむ時間を続けていきましょう。

◇◇◇ 私の一句 ◇◇◇

句会

当句会は毎月第2金曜日に句会を開催しています。最近の作から一句ずつを紹介します。(俳号の五十音順)

夕風や当り期待し竿のぼす	五月晴お出かけ前の厚化粧	山百合の匂い引き連れ母の背	特攻の別れに摘みし土筆かな	暮はねて子大たじろぐ夕小径	夕焼けへ少年の追う牛の群れ	なぞる手やうりずんの雨碑を濡らす	田を植えて今朝は都会の一教師	万緑の中すっぽりとニュータウン	父の日や着心地いかが綿のシャツ	階段を昇ってそこは曇雲	竿先の鈴鳴るを待つ月涼し	青梅三つ焼酎瓶に追加せり
西村豊海	北村岳人	川久保魚水	池田玄海	蓮池光花	増山胡桃子	倉貫野志水	蓮池秋霜	登坂爽風	滝川露枝	鈴木透水	神谷虎子	岡野流馬

次号からは、句会員の会員以外の方の「私の一句」も掲載したいと思います。投句をお待ちしています。

東京多摩プロバソング

作詞 池田 寛
作曲 中村 昭夫

聖の桜匂きつつ 多摩の流れに身を清めて
緑の社に囲まれた 我が故郷の行く末と
社会奉仕に力をそぐ
集う我輩プロバスクラブ
プロバス プロバス 多摩プロバスクラブ

雲峰富士を仰ぎつつ 心の壺を磨き合ひ
豊かな知識身につけて 次の世代の若人の
教え導く糧となる
集う我輩プロバスクラブ
プロバス プロバス 多摩プロバスクラブ

◇◇◇ ハッピーバースデー ◇◇◇

7月誕生日を迎えられました！



左から
鈴木泰弘
西村政晃
滝川道子
各会員

8月誕生日を迎えられました！



左から 上田清 高村弘毅 瀬尾日出男 阪東照子 各会員

◇◇◇ 編集後記 ◇◇◇

- 年度が変わり、神谷会長の挨拶の中に、若人と共にとスローガンが掲げられている。賛同と協力をあらためて自覚。
- 多摩プロバスかるたの英訳文があると知る。作った以上、活用したいのは誰しも願うところ。現在かくも注目されるに至った蔭には、プロジェクトの面々の努力があったればこそ、敬意を表したい。
- 3分間スピーチはゴルフの快挙!!ホールインワンをきめて大喜びの旦那さんと、手作りのケーキを徹夜で焼き、ドリームのお福分けにと気配りされた奥様のご様子が目に浮かぶ記事。スケッチはお手のものの増山会員だが、軽妙なタッチで自分で自分を描く等感多にないこと。一気に彩色、極上の笑み満面に、乾杯!
- 上田さん、八王子プロバスクラブ囲碁大会に参加され、3位とはお見事。
- 台湾の偉人、八田氏とその夫人の史実を稲田会員の卓話で知り、業績と意志の潔白さに感動した。新高山と故宮博物院ぐらいしか知らぬ浅学を、私は大いに恥じた。
- グルメ「美ささ苑」では、一列でなければ通れぬ笹竹に囲まれた外露地が、ひんやりと打ち水で清められ、迎え付けの茶の心に癒された。庭や館の佇まいは、内露地の扁額「市中の山居」の意そのまま、サンクチュアリ此処にありと気づかされた。
- 昨日は世に言う二百十日で、朝夕、心なしか冷風が吹きしるぎやすくなったが、体調に気を付けて。
(広報委員 阪東照子記)